

■テーマ “Self-introduction” (7th) “My Hero” (8th・9th)

■交流の様子



■交流内容

6月27日(金)に7、8、9年生合同でSt. Paul's 校の8年生(中学校2年生)との交流を行いました。今回、7年生は中学生になって初めての交流でした。Sunshine Program1 で学習した自己紹介の仕方を使ってSt. Paul's 校の生徒達に自分の名前、誕生日、家族、好きな食べ物やキャラクター等を英語で伝えました。自己紹介の中では、今 Program3 で学習している助動詞 can を使った文章“I can play soccer.”や“I can play the piano.”などもしっかりと行うことができました。オーストラリアの生徒達は、北山校の生徒が話すたびに、頷いていたので、しっかり聴いていることが分かりました。特に好きなキャラクターでポケットモンスターの「ナメクロ」やワンピースの「ルフィ」を紹介した時には、歓声が上がっていたので、日本のアニメが海外でも人気であることを知ることができました。8年生と9年生は、既習の動詞の過去形や現在完了形などを使って、“My Hero”についてプレゼンをしました。プレゼンでは、“He won the Japan Record Award”. などのスリーヒントクイズを出して、自分が知っている有名人を当ててもらう形式を取りました。St. Paul's 校の生徒達が一生懸命考えて、答えを次々に出してくれたのでとても盛り上がりました。本校の生徒達はクイズを出す時、オーストラリアの生徒達が自分のヒーローについて分かるか不安そうでしたが、イーロン・マスクやレオナルド・ディカプリオなど海外の有名人に加え、F1レーサーの角田裕毅選手や歌手の Yoasobi など日本の有名人も知っていたことに驚くと同時にとても喜んでいました。今回、7年生、8年生、9年生による3学年合同の交流授業でしたが、普段の授業で学習している英文を作る力やリスニング力を生かして楽しくオーストラリアの生徒達とコミュニケーションをとることができたので、生徒達は嬉しそうでした。

■生徒の感想

- 中学生になって初めての豪州交流で、緊張したけれどもはっきり話すことができました。外国の方とコミュニケーションをとる時は、相手の反応を見ることやアイコンタクトが大切だと思いました。
- 今回は、簡単に自己紹介をしましたが、次回はもっと詳しい内容を話せるようになりたいです。オーストラリアの人達は、人によって服が少し違っていたので、「いいなあ」と思いました。
- 自分がスピーチをする時、オーストラリアの人達がみんな真剣に聴いてくれたので嬉しかったです。
- 北山校の自己紹介やプレゼンテーションが終わると必ずオーストラリアの人達が拍手をしてくれたので嬉しかったです。また、交流したいです。
- オーストラリアの人達が日本のモータースポーツの選手について知っていたことにとても驚きました。
- 今回、交流で相手が聞き取りやすいように話すことや答える時の言い方に気をつけて学ぶことができたので、普段の英語の授業でも生かしていきたいです。